

新「古河市」誕生



新市の出発に当たって

古河市長職務執行者 舘野 喜重郎

茨城県西地域の中核都市として、その名も“歴史と風格のあるまち”にふさわしい新生「古河市」が誕生しました。

関東平野のほぼ中央、東に紫峰筑波を仰ぎ、西に雄大な利根の流れを臨む緑の大地に、新しい希望に満ちた人口14万7千人の新生「古河市」のスタートです。すべての市民の皆さま方とともに心から祝福し、お喜び申し上げます。

これまで古河市・総和町・三和町の三市町合併に対しては、関係者一同熱い思いを心に込めて真剣に考え、話し合い、今後百年の大計を洞察し、そして最善を尽くして今日に至りました。

この間、三市町合併の実現に向けて並々ならぬご尽力を賜りました古河市・総和町・三和町議会の皆さまをはじめ、合併協議会委員および関係職員の方々、そしてこの合併に深いご理解とご協力を賜りました市民の皆さま方に改めて深く感謝申し上げますとともに、心からお礼申し上げます。

新生「古河市」は、古い歴史と伝統、地域に根ざした文化と芸能を持ち、豊かな自然に恵まれ、将来に確かな可能性を数多く持った若さあふれる都市であります。

その特色を大切にしながら、少子高齢化や地方分権が進む中で財政基盤の強化を図りつつ、新しい時代にふさわしい人々のぬくもりを感じる都市の実現を期したいと思います。

最後に、新生「古河市」が市民の皆さまに「合併して良かった」と幸せを実感できる中核都市となることを願うとともに、今後の限りない発展を祈ってごあいさついたします。

合併までの歩み

平成15年2月、古河市・総和町・三和町の議会が合併協議会設置を議決し、3月に合併協議会を設立。しかし、新市の名称について意見がまとまらず、同年7月に合併協議会が解散しました。

それから1年後の平成16年8月、協議会解散を撤回し、合併協議会が再開。協議を重ね「合併方式」「合併の期日」「新市の名称」「新市の事務所の位置」の合併基本4項目のほか、新市建設計画などを決定しました。

平成17年2月、合併協議の内容を「合併協定書」として取りまとめ、協議会委員を立会人として3首長により合併協定の調印を行いました。3月には、3市町の議会が合併関連議案を同時議決。その後、3首長の連名により県知事に合併の申請をしました。

6月、茨城県議会で古河市・総和町・三和町の合併を議決。この議決を経て、県知事が3市町の合併を決定し、総務大臣に届け出を行いました。7月に3市町の合併について総務大臣が官報で告示。

そして9月12日、新「古河市」が誕生しました。



地勢

○位置 関東平野のほぼ中央、茨城県の西部。
東京、さいたま市、宇都宮市までの距離が50～60kmに位置。

○面積 123.58km²

○道路 国道4号、新4号バイパス

○鉄道 J R 宇都宮線

風格と希望に満ちた

いきいき “古河”

“いきいき古河” 人が語る古河市への期待

私たちの古河市は、風格と希望に満ちた“いきいき古河”を将来像として9月12日に産声を上げました。

ここでは市民の皆さんの古河市への期待についてご紹介します。



渡辺 勇さん
(本町一丁目)

県内でも5番目の人口を有する新市誕生は、喜ばしいことです。
まずは、商業・工業・農業のバランスのとれたまちづくりを期待いたします。そして新市誕生を機に、中心市街地の再生に向けて、行政と協力しながら、何ができるのかを問いつつ新しいまちづくりに積極的に取り組んでまいりたいと思います。

町から市になって良かったです。
何かかっこいいし……。
子どもを伸び伸びと育てられる市になってほしいですね。
近くに公園が少ないのももっと増やしてほしいな。



鈴木 友美さん
(仁連)



茂木 嘉奈子さん
(上辺見)

今、親子で同じスポーツをしています。
そのスポーツを通してたくさんの人と知り合うことができました。新市でも、小さな子からお年寄りまで女性も男性もみんながそれぞれ関わりあって、仲良くなれるようなまちづくりを期待しています。きっと、市民一人ひとりがお互いを理解する努力をすれば、そういうまちってできますよね。





砂川 将弘さん
(上辺見)

新市誕生にあたって18歳の私が求めること。それは市の借金の解消です。まだ子どもである私が指摘することではないかもしれませんが、親から子へそして子から孫へと続くなかで、できるだけ負の財産を解消することが必要だと思います。そのための努力を15万人の市民と一緒にできるような政策を進めてほしいと思います。新市が常に進化する都市となることを願っています。

私が新古河市に期待すること。

まず、今よりも大きな古河市になっても、きれいで住みやすい環境であることを望みます。小さな子どもからお年寄りまで、誰もが安心して暮らせるような市になってほしいです。

また、事件や事故が、一つも起こらない、素晴らしい市になることを大いに期待します。



斉藤 委子さん
(茶屋新田)



塚原 進一さん
(恩名)

野菜農家をやっているので、現在行っている「農産物の品質向上運動」を新市でも広げていてもらいたいんです。そして、古河市の野菜は安心で安全ということを全国にアピールしてほしいですね。

また、最近、地震・台風や大雨などの災害が続いているので、防災や被害者の救済とともに、農業関係の被害対策も確立してもらいたいんです。



古河市 公共施設ガイドマップ





新市になって間もなく1カ月。市民の皆さんには市役所内の配置換えによって戸惑いを覚えている人も多いかと思います。大変ご迷惑をおかけしております。ここでは、庁舎ごとに部や課の設置状況についてお知らせいたします。

本 庁

古河市役所 本庁舎

古河市下大野2248

☎92-3111 (代表)



4階	議 会 事 務 局				
	庶 務 課		議 事 課		
3階	総 合 政 策 部				
	企 画 政 策 課	行政改革推進室		法 務 対 策 室	
	総 務 部			財 務 部	
	職 員 課		情 報 管 理 課	財 政 課	
2階	総 合 政 策 部		総 務 部		
	秘 書 課	広報広聴課	総 務 課	市民活動課	
	市民生活部	環 境 部		上下水道部	
	交通防災課	地球環境課	生活環境課	下水道課	水道課
	選挙管理委員会事務局		監査委員事務局		公平委員会事務局
	財 務 部			会 計 室	
税 務 課	収 納 課	管 財 課			
1階	市 民 生 活 部				
	市 民 課	保険年金課	人権・同和对策室	男女共同参画室	

第2庁舎

2 階	建 設 部		総 務 部	
	地籍調査課		契約検査課	
	産 業 部			農業委員会事務局
	農 政 課	商工観光課		
1 階	建 設 部			
	都市整備課	建築指導課		土 木 課



建設部区画整理課 ☎30-5067

古河市東本町4-4-1

旧古河・総和土地区画整理一部事務組合事務所内にあります。



第3庁舎

1階	学校教育部			社会教育部
	教育総務課	指導課	営繕管理課	生涯学習課

社会教育部社会体育課

☎92-6811

古河市下大野2528

広域中央運動公園総合体育館内にあります。

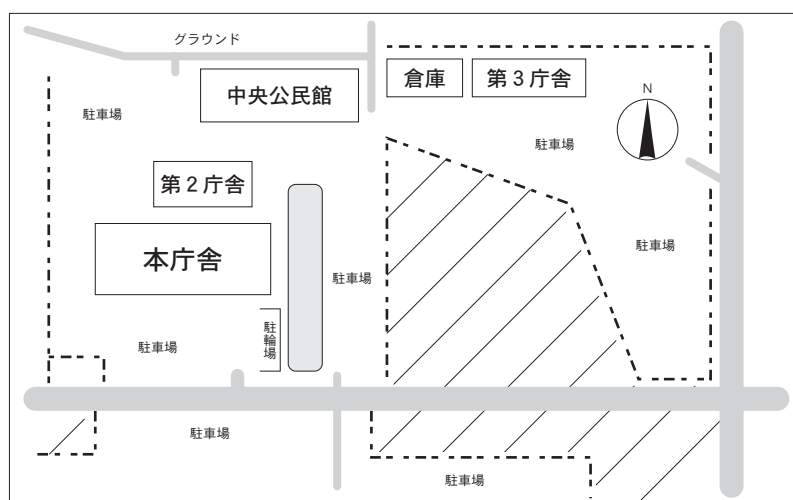
学校教育部学校給食課

☎98-3555

古河市関戸1013-3

古河市総和学校給食センター内にあります。

古河市役所 本庁 配置図



総和福祉センター（健康の駅）

☎92-5771

古河市駒羽根1501

1階	保健福祉部			
	健康推進課	社会福祉課	高齢福祉課	子ども福祉課



古河福祉の森会館

☎48-6882

古河市新久田271-1

1階	地域ケア推進室	
	総合調整課	支援活動課

支 庁

古河支所 古河庁舎

☎22-5111 (代表)
古河市長谷町38-18



2 階	総 務 担 当		環 境 産 業 担 当		
	市民活動課	管 財 課	生活環境課	農政課	商工観光課
	建 設 担 当		教 育 担 当		
	土 木 課	教育総務課	生涯学習課	社会体育課	
1 階	総 務 担 当			建 設 担 当	
	総務課	税務課	収納課	下水道課	水道課
	市 民 生 活 担 当			保健福祉担当	会計室古河分室
	市民課	保険年金課	交通防災課	高齢福祉課	

古河福祉の森会館

☎ 48 - 6882

1 階	保 健 福 祉 担 当			
	健康推進課	社会福祉課	高齢福祉課	子ども福祉課



三和支所 三和庁舎

☎76-1511 (代表)

古河市仁連2065

2 階	総 務 担 当				教 育 担 当		
	総 務 課	市民活動課	管 財 課		教育総務課		生涯学習課
	環 境 産 業 担 当			建 設 担 当		市民生活担当	
	生活環境課	産業課	土地改良課	土木課	下水道課	交通防災課	
1 階	市 民 生 活 担 当			総 務 担 当			
	市 民 課		保険年金課		税 務 課		収 納 課
	保 健 福 祉 担 当					会計室三和分室	
	社会福祉課		高齢福祉課		子ども福祉課		



健康推進課 ☎76-1211

古河市諸川1020

古河市三和メディカルセンター内にあります。

社会体育課 ☎76-7000

古河市仁連2042-1

古河市三和健康ふれあいスポーツセンター内にあります。

水道課 ☎76-3780

古河市仁連1294-1

古河市三和浄水場内にあります。

名残りと期待と 3市町閉市・町式

9月12日の新市誕生にさきがけ、旧3市町でそれぞれに閉市・町式が行われました。今年は古河市が市制55周年、総和町と三和町が合併50周年の節目の年。それぞれに旧市町への名残りと新市への期待を誓う式でした。



◀ 9月3日、三和町閉町式

▶ 9月7日、総和町閉町式



◀ 9月9日、古河市閉市式

8,541 人の小学生 秋空に競う

9月17日、市内23の小学校で一斉に運動会が行われました。明日の古河市を担う子どもたち、その数8,541人。晴れ渡った秋空の下、校庭に響く歓声。ゴール目指して一生懸命走る子どもたち。笑顔いっぱいに仲良く踊る子どもたち。この日を境にちょっとたくましくなった子どもたちに、保護者の皆さんも笑みを隠せない様子でした。



▲古河第三小学校



▲上辺見小学校



▲仁連小学校

的確なポンプ 操法を習得

9月4日、総和町消防団(現古河市総和消防団)が消防ポンプ操法練習会を実施しました。これは、消防団員の消防ポンプ操法の熟練と、敏速で確実な団体行動を徹底するための練習会です。各分団から1チーム6人が出場し、所要時間などを競います。操作開始の合図でポンプ車から器具を取り出し、ホースを延ばすと放水地点まで全力疾走。目標に向かって一気に放水。消防団員の皆さんは、一つひとつの動作をすばやく、そして確実にこなしていました。



▲広域中央運動公園で実施しました

福祉のお祭り ふれあい広場



子どもからお年寄り、障害者の方やボランティアが集い、ふれあいのなかから福祉の目を育てようと、9月3日、ネーブルパークで「ふれあい広場」が開かれました。

福祉体験コーナーでは、たくさんの人が手話や点字、車椅子などを体験。高齢者の状態を体験した子どもは「こんなに歩きづらいの？」と驚いた様子でした。

このほか、模擬店やフリーマーケットなども開かれ、ステージでは多数の出演者が演奏や歌、劇などを披露しました。

15秒の芸術 舞台は歴史博物館



茨城県が推進する芸術文化活動の一つであるフィルムコミッション。県内の名所や風情ある町並みを映画などの撮影場所として紹介しています。この夏、古河歴史博物館ではフィルムコミッションの紹介で酒のCMの撮影が行われました。江戸時代の雰囲気をかもし出す庭や建物を背景に、15秒の芸術を1日かけてつくりあげていました。この号が出るころには民放地上波で放送されています。上の写真をヒントにCMの中の歴史博物館を探してみませんか。

自治総合センターのコミュニティ助成事業

このほど、中田神楽保存会と加下間行政区が宝くじの普及および広報を目的として行う(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業の助成を受け、備品を購入しました。

中田神楽保存会は、江戸時代中期から280年余に続く郷土文化を古式のまま現代に受け継ぎ、未来に伝えていこうと研修を重ね、年2回、舞の奉納(公演)等を行ってきました。しかし、長年の使用による備品の老朽化が著しく更新が必要となったため、助成を受けて備品(太鼓など)を新調しました。

また、加下間行政区は、加下間構造改善センターにエアコン・天井扇などを設置するとともに、オーディオ設備・テントなどを購入しました。



◀ 今回の整備により、活動が期待されます



関 茂さん
(中央町三丁目・81歳)

「バレーボールを始めたきっかけは何でしょうか。」

昭和18年に慶応義塾大学に進学しました。戦争中ということもあり、体を鍛えようと始めたのがバレーボールでした。子どものころからスポーツ好きでしたが、旧制浦和中学に5年間遠距離通学して、運動ができませんでしたので、その反動ですか、何の抵抗もなく入部しました。

練習は、屋外のため汗と埃^{ほこり}で大変劣悪な環境でした。ルールは9人制。21点3セットマッチで試合時間は長くプレーは体力勝負です。バレーに明け暮れた生活でしたが、学業半ばにして19年に学徒出陣後、前橋予備士官学校に入学、終戦と目まぐるしく時が過ぎていきました。20年10月に復学し、6大学リーグ戦に出場しました。当時、私のポジションはバックライトが定位置でした。隣のセンターは、後輩でミュンヘンオリンピックで男子が金メダルを獲得したときの監督、松平康隆君でした。守りの要として早慶戦では、大活躍したのを今でも覚えています。

古河市はバレーボールの盛んな市です。

ミュンヘンオリンピックの男子バレー監督松平康隆さんと現役時代に大学のチームで一緒にプレーし、古河市のバレーボール競技の普及振興に長年取り組み、先ごろ(財)日本バレーボール協会から平成17年度功労者として表彰を受けた関茂さんにお話を伺いました。

ブックレビュー - Book Review -

永井路子著

『歴史をさがせた女たち』

孝謙女帝、北条政子、細川ガラシャ、卑弥呼、藤原薬子、日野富子、紫式部、静御前、出雲お国、アグリッピナ、エレオノール・ダキテーヌ、イサベラ、マリア・テレジア、ジャンヌ・ダルク、則天武后、クレオパトラ、楊貴妃、ローザ・ルクセンブルク、メアリ・リンカーン……。

歴史の愛好家には、これら洋の東西の女性の経歴がすぐさま頭に浮かんだことでしょう。彼女たちは、あるいは貞女、あるいは猛女・烈女と呼ばれ、はたまた悪女とまで言われながら、それぞれの時代を彩った女性たちです。

確かな史実に基づいて、彼女たちの本音をいきいきと描き、そのスケールの大きな人生がユーモラスを混じえてつづられ、しかも平易な文章で誰もが気軽に歴史に親しめる、そんな本があるのをご存じでしょうか？ 永井路子著『歴史をさがせた女たち』です。



もともとは、日本経済新聞に連載され、昭和44年に『日本スーパーレディ物語』として刊行されたものです。その後、文藝春秋より『歴史をさがせた女たち』と改訂・改題され出版、ベストセラーになりました。平成15年には、

新装版『歴史をさがせた女たち』(日本篇・外国篇 文春文庫)が新たに刊行されています。

ところで、永井路子の作品世界には、いくつかの際だった特徴があります。なかでも、史料・史実に忠実に、そこから、「永井史観」とも称される新たな歴史解釈を生み出していること、そして、歴史に生きる女性たちの立場を新しい視点で描き直したことは、それまでの歴史小説にはあまり見られなかったことです。

『歴史をさがせた女たち』はそんな永井文学への入門書としては、うってつけの作品であるといえます。古河出身の偉大な歴史小説家の作品、ぜひ、ご一読を。

(古河文学館 秋澤正之)

ーバレーボールの普及のためにどんなことをしてきましたか。

昭和44年に第29回茨城国体バレーボール競技種目の古河市開催が決定したのを機会に、これまでの経験を買われたのだと思いますが、古河市バレーボール連盟の基礎づくりに携わりました。また、底辺層の育成ということで、市バレーボール少年団団長や県小学生バレーボール連盟の副会長としての活動もさせていただきました。特に、県小学生選抜チームを結成して長年、中国遠征の親善交流試合も学ぶことが多かったと思います。また、この間、当市では古河一高、一中、二中が全国優勝、小学校の部では四小のますらおが準優勝と名声を高めていったころの

様子を今でも忘れません。もちろん、今でも県西地区はレベルがとても高いですね。

ー今後の抱負を聞かせてください。

やはり競技人口の底辺を広げたいですね。かつて、活躍した方々が指導の中心的役割を担うようになってきたことがとてもうれしいことです。バレーボールは団体競技ですから、子どもたちに交流の楽しみと礼儀を学んでほしいと思います。そして、試合で勝つ楽しみも徐々に覚えてほしいですね。夢は、小学校の部での全国制覇です。



▲バレーボール早慶戦。前列左から2人目が関さん

ー小学校の部の全国制覇。ぜひ実現してもらいたいものです。本日はお忙しいところありがとうございます。

バレーボールを語るときの、きらきらした目が印象に残りました。これからも、古河のバレーボールの振興のためご活躍をお祈りしています。

図書館

おすすめの図書

◇一般書

・東京タワー

リリー・フランキー 著

それはまるで、独楽の芯のようにきっちりと、ど真ん中に突き刺さっている。東京の中心に。日本の中心に。ボクらの憧れの中心に。この話は、かつて、それを目指すために上京したオトンと、ボクと、オカンの小さな話です。

出版社 扶桑社

分類記号F(913.6) リ

・小さな白い車

ダン・ローズ 著

97年パリ。ワインとマリファナで頭の中はぐるぐる。車をみると接触事故の跡。そしてテレビをつけたらダイアナ妃の写真。マジ？ あたし、プリンセスを殺

しちゃった。全世界を敵にまわしたヴェロニクの証拠隠滅作戦スタート！

出版社 中央公論新社

分類記号 933 ロ



◇児童書

・ローラ*ローズ

ジャクリーン・ウィルソン 著

尾高 薫 訳

新しい人生をはじめたい……。そんなふうに思ったとき、わたしはローラローズになった。ラッキーは自分でつかまなくちゃ！

ちょっぴりシリアスで、最高にクールな勇気のストーリー。

出版社 理論社

分類記号93

・1000000(ひゃくまん) ぼんのブナの木

塩野 米松 文

村上 康成 絵

遠くにあるブナの木山には、1000000本のブナの木が生えています。鳥や動物たちのすむ森に、人間の子どもがどんぐり拾いにやってきました。そして帰った後に1枚のバンダナが落ちていました。森に冬がきて、そして春が……。

出版社 ひかりのくに

分類記号 E

(古河図書館)



古河の文化財

古河市の指定文化財

新古河市が誕生し、人口約14万7,000人、面積123.58km²と茨城県内でも有数の規模の市となりましたが、これに比例して市域の文化財件数も、指定文化財等が155件、埋蔵文化財包蔵地が409カ所となり、数多くの文化財を抱えることになりました。

指定文化財には、国・県・市町村の別があり、それぞれのレベルに応じて指定がなされています。まず国指定ですが、建造物と歴史資料の2件があり、後者は鷹見家資料として昨年3月に指定されたばかりのもので、文書や絵図・書籍など3千点を超える資料群です。県指定は建造物1、絵画2、彫刻4、工芸品2、無形民俗文化財2、史跡2、天然記念物2の計15件です。また市指定は全部で126件あり、種別ごとの数はここでは紹介できませんが、古文書と史跡が比較的多くなっています。このほか近代(明治時代)以降の建造物

を対象とする登録有形文化財が12件あります。この登録制度は、指定文化財の許可制に対して届出制など比較的規制の緩やかなもので、平成8年に制度化されたものです。

こうした数多くの文化財の保護・保存・活用を推進する担当部署が、本庁(旧総和町役場)生涯学習課の文化財保護係です。よろしくお願いいたします。



▲国指定重要文化財「旧飛田家住宅」

コミュニティ通信

イベントと伝統行事で会員相互の親睦を図る 鍛冶町自治会

江戸時代の初期に、野木から鍛冶職人が集団でこの地に移り住みました。鍛冶町には、そうした由来があります。自治会長の斉藤さんに話を伺いました。

「鍛冶町は、141世帯、人口440人の自治会です。時代の流れでしょうか、鍛冶町も店じまいする店が多く、商店街にかつての活気がないのが残念ですね」。

「高齢化は着実に進んでいます。自治会には昔から住んでいる人が多く、地域の絆は抜群です。市民総ぐるみのソフトボールや市民運動会など、市主催のイベントには必ず参加しています。また、夏祭りや提灯竿もみまつりなど伝統行事にも力を入れています。これらの行事を支え

てくれているのが、子ども会のお父さんやお母さん方です」。

「月に1度、役員会を開催する他に、月2回、1日と15日に手作りの広報を作り会員に回覧しています。また、環境美化にも力を入れています。四季の径の清掃を、毎月第4日曜日に実施しています。悩みは、古河駅に近いので、タバコの吸殻や、ごみ集積所に他の地域からの持込みが多い点です。ごみの放置対策は、今後の課題です」と斉藤さんは自治会の取り組みについて、熱心に語ってくれました。最後に「伝統行事をしっかりと受け継ぎながら、会員相互のコミュニケーションを大切にしていきたい」と結んでくれました。





パークライフ

ネーブルパーク

ネーブルパークの「ネーブル」とは、英語で「おへそ・中心」という意味があります(果物のネーブルオレンジを思い浮かべる人も多いと思いますが)。ネーブルパークは、関東平野のほぼ中央に位置し、人間でいうと「おへそ」にあたるところから名付けられました。

平地林に囲まれた園内には、宿泊用のログキャビンやバーベキュー広場があり、四季を通して多くの方々にご利用いただいております。

また、展望台を中心にローラーすべり台・ターザンロープなどの遊具があるアスレチック広場や、その地下には3種類のヒューム管で作られた全長173メートルの地下迷路があ



り、いつでも子どもたちの楽しげな声があふれています。

園内には宿泊研修施設として研修センター「平成館」も併設されており、企業の方々の研修や、グループ・団体の方々のいろいろな活動にもご利用いただける施設となっています。もちろん、ご家族や個人でもご利用いただけますのでお気軽にお問い合わせください。

その他、園内には陶芸などができる工芸館や、地元産のそば粉を使った手打ちそばが味わえるそば処、引き馬や乗馬のできるポニー牧場、釣り堀、子どもの広場などがあり、子どもから大人まで一日中楽しめる公園です。

【問】ネーブルパーク ☎92-7300

趣味ゆうゆう

世界に一つだけの作品を作る喜び 手工芸クラブ

▶みんな仲良く活動しています



三和公民館の「手編み講座」から発展してできた「手工芸クラブ」。講座の講師だった赤岩元子さん(諸川)の指導により、毛糸やレースの編み物を中心に作成し、それ以外のさまざまな手工芸にも取り組んでいます。この日は伝統ある籐工芸に挑戦。果物かごなどを作り始めました。

一見堅そうに見える籐も、水をつけると柔らかくなり、ちょうど紙ひものようになりま

す。その籐で底を組み、胴を組み、縁をとめるという繰り返しの中で、模様を入れたり、籐の種類を変えたりして作品が作られています。

クラブは、ほとんどが同年代の女性ということで、とても和やかな雰囲気。楽しいおしゃべりをしながら、作品を作る喜びを味わっているようです。

部長の栃木奈津乃さん(尾崎)は、「毛糸や籐などの材料から、この世に一つしかない物が出来上がります。その作品を見るのが何よりの楽しみなんです。11月に行われる三和地区の文化祭にも出展しますので、ぜひ見に来てください」と話していました。

クラブは毎週火曜日の午後、三和公民館で活動していて会員は現在15人。籐工芸の次は、来年の干支である犬の木目込みを作る予定だそうです。





▲利根川の堤防から南を望む。はるかに続くような草千里の緑は、やがて空の藍とまじわる

新古河市の発足、おめでとうございます。

この度の合併を契機に、ふるさとの古河市が、人々の心ふれあう活力ある地方都市として、ますます発展することを期待しています。旧総和町の^{しや}釈迦小学校、総和中学校の学舎で育まれ、古河一高を卒業した私にとって、今回の合併はとても嬉しい出来事です。現在、総務省において市町村合併を担当している立場からも、大局的見地に立ちこの合併を推進された関係者の皆さまに対し、心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

私は、昭和49年に旧自治省に奉職後、全国の地方団体（奈良県、鹿児島県、徳島県、静岡県、桑名市）と霞ヶ関の間を行き来して参りました。ふるさとは遠きにありて思うものと言いますが、九州や四国の異郷の地で、仕事に疲れた時などに目をつぶるといつも私の脳裏に浮かぶのは、利根川の雄大な眺めでした。十代後半の受験生時代、気分転換のために、夕方、よく利根川へ出かけました。坂東太郎の堤防の草むらに寝ころんで夕焼け空を仰ぎ、一番星が見えるころまで、^{ぼろ}茫々たる^{あし}葦の原を見渡して時を過ごしたものです。そのとき網膜に焼き付いた草千里の光景は、私の一生の宝物です。

お国（母校）自慢として、サッカーのこともよく話題にしました。サッカーの盛んな静岡県の総務部長をしているときには、私の母校が古河一高と分かると多くの方が親しみを抱いてくれました。また、駆け出しのころ（昭和53年1月）、こっそり職場を抜け出して古河一高と室蘭大谷高校の決勝戦を国立競技場まで応援に行ったことがあります。優勝の喜びに浸りながら部屋に戻り上司や同僚に小さな紅白まんじゅうを配ったところ、その夜は、とにかくに古河一高の祝勝会となりました。



総務省大臣官房
総括審議官 荒木慶司さん



カトレア

今号で紹介するのは、9人制女子バレーボールチームの「カトレア」。仁連小学校保護者が中心となってできたクラブです。

練習は週1回。全員が家庭を持っているということで、なかなか全員がそろうことは少ないそうですが、お互いを理解しあい、励ましあって活動しているとのこと。

「結成してから15年。結成したころは、若くて強い美女軍団って有名だったんですよ」と笑顔で話すのはキャプテンの佐藤幸子さん（仁連）。「バレーが好き、もっとうまくなりたいという気持ちで活動しているから全然つらくないです。学生の部活動のノリですよ」とのことです。また、「古

河市全体の大会があれば優勝したいですね」と今後の抱負を話してくれました。

貴重な時間を使つての練習だけに選手の皆さんは真剣そのもの。「ハイ一本！」の掛け声で、コート狭しとボールを追いかけます。

カトレアの花言葉は「あなたは美しい」。そのチーム名のとおりコートを駆け回る姿は、キラキラ輝いてとてもきれいでした。

健康情報局

「健康日本21」って知ってますか？

これは健康寿命（寝たきりや痴呆でなく元気に生活できる期間）を延ばして、すべての国民が健やかで活力ある心豊かに生活できる社会とするための対策として国が2010年を目標に平成12年度から開始した運動です。

「健康日本21」では、大きな課題となっている生活習慣等（栄養・運動・たばこ・歯・心の健康・検診など）について、目標と具体的な生活改善の方法を分かりやすく紹介しています。

「健康日本21」は今年でちょうど半分過ぎたことになりましたが、皆さんは生活の中で気をつけていることはありますか？ 今回の合併を機に自分でできる範囲の健康目標を一つ作ってみましょう。

また12月には、来年からどの健診を受けるか希望調査を行います。これからは「自分の健康は自分でつくる！」の意識のもと、ぜひ健診を受けてみましょう。



（健康推進課）

表紙写真



平成17年9月12日、古河市と同じ日に誕生した初々しい赤ちゃん。

寄付

茨城県美容業生活衛生同業組合古河支部から一般寄付として7万1,000円を寄贈。

人口と世帯

（9月12日現在 住民基本台帳から）

総人口 147,013人

男 73,716人

女 73,297人

世帯数 51,442世帯

今月の料理

きのこのワイン蒸し



エネルギー＝14kcal
たんぱく質＝1.9g
脂 質＝0.2g
塩 分＝0.5g

材料

生しいたけ4枚 マッシュルーム4個 しめじ1パック 赤ピーマン1/2個 白ワイン大さじ1と1/3 水1と1/3 塩小さじ1/2 こしょう少々 パセリ(みじん切り)4g

作り方

- ①生しいたけ、マッシュルームを薄切りにし、しめじは小房に分けておく。
- ②赤ピーマンを薄切りにする。
- ③鍋に①と②、白ワイン、水を加え弱火にかけ、煮立ったら塩・こしょうで調味する。
- ④器に盛りつけ、パセリをふる。

(食生活改善推進会)



アイドル登場



精一杯がんばる姿に感心！

田口 大輝くん(1歳4カ月・三和)

1歳の誕生日の翌日、初めての1歩を踏み出しました。一つひとつできることが増え、行動範囲も広がり、毎日がとても楽しそう。今では4歳の姉と「キャーキャー」騒いで走り回り、三輪車に乗ったり、縄跳びをしているつもりでジャンプ？何でも同様にまねして遊んでいます。



今年の夏は、アイスクリー ムやかき氷の味も覚え、自分で冷蔵庫を開けて氷をほお張っていました。プールも体験し大はしゃぎ。パパの腕をひっぱり水の中へ。あくびをしながらプールを楽しんでいると、両手を挙げて抱っここの合図。抱っこされながらプールの中で眠ってしまいました。何にでも自分でやってみたいと、毎日精一杯がんばっている姿に感心しています。(母・朱美)

博物館 ニュース

古河公方足利成氏の

古河移座から550年

「新古河風土記」展より

今年は鎌倉公方足利成氏が宿敵上杉氏を討って、鎌倉から母方の築田氏の本拠地でもある古河に座を移し、いわば鎌倉府の亡命政権を樹立してから550年となります。以後古河公方と称され5代120年余在城しました。



かつての下河辺荘や幸嶋荘という旧利根川東岸に位置する広大な荘園で、このなかに古河市域がかなり含まれていたとみられます。たとえば大山・上大野・関戸・小堤・谷貝・山田などがあげられます。古河公方はそれらの土地を家臣たちに宛がい、さらに在地の地侍が実質的な支配をおこなっていました。当地に公方旧臣の系譜をひく名主層がみられるのはそのためです。

なお、本展には中世の山川氏・築田氏や近世の鮭延越前守・熊沢蕃山の関連資料などを紹介しています。

成氏時代は享徳の乱とよばれる争乱が30年にわたり続きましたが、この間、成氏は鎌倉に倣って城下をつくったといわれ、市内には鎌倉ゆかりの寺社がみられます。

また古河公方勢力の経済的基盤となったのが、御領所という直轄地です。北関東の御領所の中核となっていたのが、

(休館日などは、お知らせページを参照してください。お知らせページの市民招待券をご利用ください)

古河歴史博物館館長 鷲尾政市

平成17年10月1日発行

●発行所／〒306-0291
編集／古河市広報広聴課

茨城県古河市下大野2248

古河市役所 0280(92)

3111